

生活利便街区

LIFE CONVENIENCE AREA



豊かな暮らしを つなぐ場所を

本エリアの最寄り駅となる南栗橋駅は、大手町や渋谷方面への始発駅として都心に直結しており、更には自然豊かな栃木・日光方面にもアクセスが良く、都市と豊かな自然をつなぐ起点として、双方の魅力を感じられる立地です。ワークスタイルの変化により会社へ通勤する機会が減った中でも、都心に向かう始発駅は大きな利点です。また、自然を感じられるエリアにもアクセスが良いことで、「仕事も私生活も大切にす

る」、このようなニーズにも応えられる可能性があり、「新しい生活様式」をかなえうるエリアであると考えました。

ブリッジライフプラットフォーム構想には、人々の豊かな暮らしをつなぐプラットフォーム（基盤）のような場所を南栗橋エリアに創出したいという想いが込められています。この場所で造られる、商業施設、保育所、シニア施設、公園、街路等は、新しい戸建住宅のお客様にとって

のものだけではなく、既に近隣地域にお住まいの皆様にも、安心してご利用いただけるものとなります。この場所で暮らしを充実させる様々な施設やサービスを作り、健康で幸せに生きる次世代の暮らしを実現したいと考えています。

また、本構想は南栗橋エリアに若い世代の流入をもたらすだけではなく、シニア世代にも必要な施設を併設した、循環型のまちへと発展させるものです。多世代の方々が将来にわたり利便性を実感でき、健康で安心して暮らせるまちへ生まれ変わることを目指すとともに、本構想が地域活性化のモデルケースとなり、将来的には、他の沿線地域の活性化策にも展開できるよう、取り組んでまいります。



東武鉄道(株)

おがたひろし
尾形浩 沿線開発部長

戸建街区

RESIDENTIAL AREA



コミュニティが 育まれる街づくりを

当社は、これまでにCO₂削減等を目的としたZEH（ゼロ・エネルギーハウス）※1の積極的な普及や、停電時でもクルマが電源となり、家に電力を供給することができる「クルマde給電」といった、環境や安心・安全に配慮したさまざまな取り組みを進めてきました。

本プロジェクトにおきましても、今までの住宅開発を通じてきたあらゆる技術・ノウハウを惜しみなく注ぎこみ、どこよりも快適な住まいと街づくりを実現する決意です。



トヨタホーム(株)

たさかひろし
田坂寛 常務取締役

道を配置することで、歩きながらリラックスができたり、街全体をMIDエリアにすることで、外でも自然を感じながら仕事ができるなど、お住まいの皆様が思い思いにゆったりした時間を過ごせるようなエリアにしたいと考えています。また、季節ごとのイベントの開催が可能なクラブハウスの設置など、人と人とのふれあいが生まれ、自然にコミュニティが育まれるような街づくりを目指していきます。

今回のブリッジライフプラットフォーム構想は、それぞれの分野で強みを持つ5者が連携を図ることで、さまざまなオープンイノベーション※2が起ることが期待されます。

本プロジェクトに携わる産官学の力を結集し、新たな取り組みが次々と生み出されれば、それが市内の他の地域へ連鎖拡大し、最先端の取り組みが生まれる街として、久喜市のイメージアップにもつながるものと考えています。

※1 太陽光などで創り出すエネルギー量が、家庭で消費するエネルギー量を上回ること、ひとつの住宅の年間のエネルギー消費量を正味でゼロ以下にする住まいのこと。
※2 組織や企業の枠を超えた知識や技術等の連携による革新的な製品・サービス等の創出を指す。